京城日報
夕刊
十二月二十九日(火)
日丁一番地 京城日報社 電話 本社 三八〇〇 編輯 野口 小人 印刷 所 京城日報社 電話 三八〇〇

京城 元寶 生 堂 本店 三八〇〇

錦州軍つひに我が軍に挑戰

廿九日朝來三集團に分れ三方面同時に行動を起す

學良軍に移動を命ず

【奉天廿九日發電】溝都子に集中された義勇軍騎兵隊は今朝來三大集團に分れて進軍を開始し、一隊は盤山に向け南下、一隊は台安、遼中方面に東進、一隊は白旗堡に向け進軍、錦州軍權は遂に我が軍に對して挑戰して來た

【天津廿八日發電】學良は津浦、京漢兩線駐屯東北軍に對し錦州方面へ移動の命令を發した

新民府危險に陥り

—森○○○○隊司令官—

司令部を奉天に移す

【奉天廿九日發至急報】白旗堡の第四、第五路義勇軍は今曉正規兵、匪賊團と呼應一齊に新民府包圍攻撃の隊形をとり、攻勢に出て來り新民府は危險に陥つた

【奉天廿九日發至急報】新民府附近危機切迫に伴ひ森○○○○隊司令官は昨夜十時半四平街より急遽來奉司令部を奉天に移した

嘉村○○旅團長出動

【奉天廿九日發電】森○○○○隊司令官、嘉村○○旅團長に今曉遼西所嘯討伐出動命令下り、嘉村○○旅團麾下の○○大隊は午後一時北寧線に奉天より出動することなつた

大窪盤山間で彼我兩軍激戰

今曉五時を期して逆襲

【奉天廿九日發至急電】盤山に進出した義勇軍は同地の匪賊を呼應して今曉五時を期して我軍に逆襲し來り、大窪に一夜を明かした○○○團は直ちにこれに應戰目下大窪盤山間に於て兩軍激戰中

日本軍の後方を突け

錦州死守に學良懸命

【山海關廿八日發電】學良は錦州方面の戰線益々緊迫するに伴ひ錦州死守に努力を拂つてゐるが、軍に戰時特別金を出し士氣を激勵するもの、別働隊に對してもそれぞれ武器彈藥及び現金を交付して我軍の後方攪乱をなさしむる部へ日本軍の後方を突け錦州死守のため凡ゆると命令を發した

【天津廿九日發電】錦州方面の戰線益々緊迫するに伴ひ錦州死守に努力を拂つたので學良は何とかして我軍の錦州奪還を阻止すべく二十八日左の懸賞電報を發した

一、陣地を一晩夜以上保持せる者には二百五十元を與ふ

一、中隊又は大隊を保持せる場合は二千五百元乃至三千元を與ふ

一、日本軍の根據を奪取したるものは二千五百元乃至三千元を與ふ

一、日本軍の根據を奪取し之を破壊し、鐵橋二千元乃至五千元を與ふ

一、日本軍將校を捕虜とせる場合は三千元乃至五千元を與ふ

一、關係を捕へし者には百元を與ふ

錦州防備を懸賞附で

◇—學良の奬勵電報—

【天津廿九日發電】錦州方面の戰線益々緊迫するに伴ひ錦州死守に努力を拂つてゐるが、二十八日第十九路軍に對し士氣を激勵する一方、別働隊に對してもそれぞれ武器彈藥及び現金を交付して我軍の後方攪乱をなさしむる部へ日本軍の後方を突け錦州死守のため凡ゆると命令を發した

學良の大言壯語

日本軍も鑑袖一觸

【北平廿八日發電】學良は錦州奪還に對し「日北の將士一度怒つて起ては百萬の日本軍も袖一觸のみ」と豪語し錦州を奪還すべく大言壯語した

學良の祕書錦州に急行

【天津廿八日發電】張學良の祕書は二十八日朝天津出發奉天に急行した

我飛機

敵の裝甲列車を破壊す

【大連廿八日發電】廿八日午後一時半○○を出發瓦房店の線偵察に向つた我飛行機○機は三時二十分蘇馬河西方四里大河附近に於て附近の敵裝甲列車より砲撃を受けたが我飛行機は敵裝甲列車を破壊し帰還した

外國武官錦州に向ふ

【天津二十八日發電】外國武官及下外交官は昨日錦州に向ひ特別機を出發した

張臺子附近に匪賊襲來

【奉天廿九日發電】奉天以四國線へ迫りつゝある老虎風の匪賊團は二十八日午後七時張臺子沙河、首山附近に襲來支那部落に放火、掠奪中に支那警察隊と交戰し敵は北方に敗走した

遼西進擊と米國の神經

—また失らす

【ワシントン廿八日發電】二十七日付日本政府の遼西進擊に關する日本政府の聲明は即日米國大使ホープス氏に、同大使より國務長官スチムソン氏の手許に傳達されたが、右聲明は明かに滿洲事變の目的は政府の聲明を明かにするものであり、滿洲に殘された張學良の最後の防禦を粉砕せんとは止まる決心を示したものと一般に解釋されている

室師團長以下司令部着奉

增派の朝鮮部隊先鋒

【奉天廿九日發電】關東軍の增派朝鮮部隊のため滿洲出動を命ぜられた室師團の一部隊は二十九日午前六時二十分奉天を經て奉天に到着した

緊張した錦州方面に更に特派員を派遣

佐藤記者と河野寫眞班長

特に朝鮮軍の情報に重をおく

廿七日夜、突如として發せられた出動命令によつて、わが朝鮮部隊は、酒匂師團の指揮下に派遣部隊の編成を了へ、京城駅長麾下の司令部は動員を先發として廿八日早朝來龍山、羅南兩の副部隊より隊を出動を見つゝある。それは、正に錦州方面の事態急迫を物語るものであつて、彼我の一大決戰が眼前に迫るに相違ない。一方滿鮮一帯に亘る匪賊の大蜂起は廿八日を以て一斉に開始され滿洲の全機能は、異常な緊張に陥つてゐる。わが社は過に平田、大野、北原、金谷記者を一團に亘つて特派し奉天、チチハル方面の情勢及び將軍部の動向に備えたが、今回の錦州方面の事態を研究する問題であり、殊にわが朝鮮部隊の動向は錦州方面の情勢と特に重大性を帶ぶる問題であるので、[illegible]錦州方面その他の情勢を詳細に調査せしむるとともに、同時に若干二十日午前零時半分京城通過の○○部隊と共に○○地方へ急行した

（寫眞右、佐藤記者、左、河野班長）

國府顏觸れ

◇—首席は林森

全體會議にて決定

【南京廿九日發電】廿九日の全體會議に國府顏觸れを左の如く正式に決定した

首席	林森
行政院長	孫科
同副院長	陳銘樞
考試院長	戴天仇
立法院長	張繼
同副院長	覃振
司法院長	伍朝樞
同副院長	居正
同副院長	丁維汾
監察院長	于右任

當務委員決定

【南京廿八日發電】國民政府當務委員は左の如く決定された

張學良除かる

【南京廿八日發電】廿八日の全體會議は國民政府當務委員に張學良除かれ、蔡元培、胡漢民、汪精衛、孫科、戴季陶、張繼、覃振、居正、于右任、伍朝樞、陳銘樞、戴天仇、張繼、覃振、丁維汾、于右任の十三名を選出したが張學良の名は除かれてゐる

一月一日を期し統一政府成立

南京廣東兩政府は消滅

【上海二十九日發電】統一政府は來る一月一日を期し成立し南京、廣東兩政府は同時に消滅せしむるに決定した旨發表された

海軍航空本部長小林小將入城

【南京廿八日發電】海軍航空本部長小林小將は廿二日の夜南京に入城した

室中將謝電

本社に寄す

【南京廿八日發電】室中將は謝電を本社に寄せた

復黨難くば新に倶樂部組織

脫黨派八氏會合協議

【東京廿八日發電】安達謙四郎の復黨は解散問題に關し民政黨の鳩山、鹿島、宮崎、伯爵、神鞭の主脳連は民政黨主脳に二十八日午後、赤坂紅水に會合協議を遂げたが、鳩山等は何にしてもどうしても安達氏が同志の理解を必勝を期したい、併し當面にこれがなければ安達氏の復黨を迫ることも本意でないから、安達氏の復黨の問題を當分延期することとし、左の如き新倶樂部を組織することに決した

考慮申合せ

五縣代議士

機を見て復黨を要求する事

【東京廿八日發電】安達謙四郎の民政黨復黨問題に關し民政黨の鳩山、鹿島、宮崎、伯爵、神鞭の主脳連は民政黨主脳に二十八日午後、赤坂紅水に會合協議を遂げたが、鳩山等は何にしてもどうしても安達氏が同志の理解を必勝を期したい、併し當面にこれがなければ安達氏の復黨を迫ることも本意でないから、安達氏の復黨の問題を當分延期することとし、左の如き新倶樂部を組織することに決した

昭和製鋼所は大連に決定せるか

內田總裁拓相と會見

政府の態度重視さる

【東京廿八日發電】內田滿鐵總裁は廿八日午後三時半拓相を訪問し滿鐵の現狀及び今後の經營方針につき詳細に報告し、拓相の意見を求めたが、右の會見は全然滿鐵問題には關れず總裁は拓相と會見し、滿鐵の現狀及び今後の經營方針について

李王妃殿下 王子を御分娩

けさ八時廿二分

【東京電報】李王妃方子女王殿下にはかねて御懐姙中のところ二十九日午前八時二十二分めでたく王世子殿下御誕生、直ちに宗秩寮より發表した

十一年目の御慶事に 李王殿下も御滿悦

殿下が親しく御命名遊ばす

喜び溢れる東京の李王家

【東京電報】李王妃方子女王殿下には本日午前八時二十二分めでたく王世子殿下御誕生遊ばされたことは既報の通りであるが、李王家の御慶事は大正十年李堈殿下御誕生以來十一年目の事であり、殊に同殿下が齢十一年には結婚遊ばされ、その後ひたすら御殿邸を御待ち申上げつゝあるところ一昨年めでたき御懐妊遊ばされたるも不幸御流産遊ばされ今回やうやくめでたき御誕生を拜したる事とて麹町紀尾井町の李王家は御慶びにあふれ李王殿下にも極めて御御機嫌の中に初の御対面を遊ばされた趣きである。御名は來る四日の御七夜當日殿下より親しく遊ばされる由である

李王御誕生に際し李王殿下は直ちに宗秩寮総裁に対し王世子御誕生の旨を宗廟に奉告遊ばされ、次ぎに李王殿下への賜ぼうを早し、先づ李王殿下の御誕生式典調製、宗秩寮調査課長と李王職に押しよせお屠に『お目出度う』を交換する一方御機密や慶賀への報告に一時に押しよせる電話の鈴音に追ひまくられ大忙しの中にも日々に御慶び溢れとり上げかねて何年ぶりかで満室の花が満面に咲いた

一時に舞ひ上る 喜びの李王職

上を下への大騒ひ

潮長の一番乗をはじめついで李王殿下への賜ぼうを早し、先づ李王殿下への賜ぼうを早し、先づ李王殿式典調製、宗秩寮調査課長と李王職に押しよせお屠に『お目出度う』を交換する一方御機密や慶賀への報告に一時に押しよせる電話の鈴音に追ひまくられ大忙しの中にも日々に御慶び溢れとり上げかねて何年ぶりかで満室の花が満面に咲いた

御同慶に堪へぬ

宇垣總督謹話

李王殿下の御慶事は申旬臣たる吾つてのみならず吾が国の御慶事と拜さるべきの事は昨日も既申述べたる如くであるが、今日の御様子は実に大きな話をしたる經過にして殿下の御慶事に対し心待ち御慶事を待ち遠に御慶事に対し心待ち御慶事を待ち遠に御慶事に対し心待ち御慶事を待ち遠に

匪賊鳳凰城襲撃

（上）平井樂房機（中右）敵の彈痕（中左）敵の彈痕（下）出動したわが裝甲車

新春興行の出し物決定

賑やかに盛澤山て客を吸集

喜樂館

新警官の巡査部長に昇進した新興映画の人氣者大河内傳次郎氏の出演する新興映画「忠臣蔵」は十二月二十日から喜樂館に於て興行する筈であるが、この新興映画は

實傳 維新俠艶錄 (145)

橋爪彦七氏作
竹内静吉氏畫

ト出師（井二）。

チィ――ッ！

源三郎の面が、凄惨のなかで嘲ッとなった。急に蛇蝎のあたりを網でなぶれたほどの痙攣を感じると、知らず識らずに左半身刀の鍔口を。

ぷつり切ると思ひ早だ。

筋つた紙と月木蝋とをつないでみる鍔鳴を、一歩々々と呼びはじめた。

とも知らずに。

紙の中で、蹲踞れた二人。間的な緊張に耐ゆ中間砂の遊離境。をりからパッと走をめくつて、壁には既に鍔鳴が鍔つて、スクと立つた源三郎の姿！

「あれお前は……」

「おッ、待ちたな」

驚く二人の立ち聞きをうとするのを。

「動くな！」

と一喝、鞘ぐみ鍔もの切矢、脳天かけて鳴り怪まで、狂ほひ見郷の

ながら、なぜか、男に聞い感恩を思ひ起させる女――それを自ら知らず源三郎には、旺盛の若さを彫り刻つてゆく興感と闘ふために、何かの一の重壁を、力強い反撃を持たねばならなかつた。

人を嘲る……。

その親相的の感感こそ、刀身を傾けつて手許にしびれを感じさせる感感こそ、彼を若さに落き誤すものだつた。

遂に――源三郎は鍔によつて己れの生をしつかと抱る。

鍔鳴！

生きながら鍔鳴となつて、あはれ東源源三郎一所不住の浮浪人となつてしまつたのだつた。

その源三郎がめぐりくる島原に現れ、今し暗遇島の感感をくどつた時間。

不思議な感感がおそつてきた。

血―血―血を感ぜ、生命の香りを感ぜ妄念……

雅感の鍔鳴がおいかぶつてきたのだ。

暫平間。

「うむ！……」

と、男がのけ反つて空を掴むの客間さまさせる。

「エイ！」

間さすこの太刀は片手薙ぎに、遂よそうするお美津の左肩から見然性さる鍔にかけて、全る切矢は鍔床を鍔だ。

「きゃ、痛つた……な……」

「驚天な美津はお寺上りとしながら、さすが武士の家庭だ。そのまゝガクリと崩れてしまつた。

「ふふふ……嘘い奴……」

と源刀に血ぶりをくれて血のりをはらくと、倒れた両側の死骸の袖を、ダッと拭つて愚明の光りに透かす鍔鳴の相鍔、鍔鳴の鍔鳴を好ず鍔の鍔ひが、白い鍔肌にほッと浮く。

しばらくは、智興性の血の快感ホ――

やがて。

鍔には大鍔が取り裂きれた。

鍔りぼつもになつた怖しさ――

その鍔鍔のないせき鍔のなかに、源三郎は自分の相を見ようとしてみる……。

鍔鳴に女に思はれ、そしてなにを鍔れて――彼ほ女を鍔つてしまつた。鍔鍔的とは云へなかつた。

血の匂ひが嗅ぎたい！

思ひたつと居も非もなく、たゞもう人の肉人の肉に、ザグリと喰ひ入る刀の感動か……鍔手に感じる快感が……

「鍔衣」

久しぶりの鍔ふぶの鍔ぶ。そして玉虫色の口紅が、すでに血の色に鍔ぶ。

「ながい間、ながい間、よう鍔れさせず来てさいて下さしたな……」

その鍔衣の鍔ひが色。源三郎の耳には入らなかつた。

「鍔衣」

「ゴ？」

「命をくれぬか！」

本府辭令

――十二月廿八日附――

（慶北）本府事務官　鈴木沙奈夫
任本府警察官講習所教授（七等）
同　馬場長
任本府警察官講習所教授（七等）
同　山村　正輔
任本府技師（六等）
金鍾南道在勤を命ず
任本府技師（六等）
（京畿）本府道警部（七等）　野村　繁
宣慶道在勤を命ず
任本府道警部（七等）
（京畿）同　中村　熊臣
任本府道警部（七等）
補慶尚南道警察部長
（咸北）同　黒澤　基平
任本府道警部（七等）
（咸北）同　金　喜
任本府道警部（七等）
（慶北）本府道警部（七等）
宣慶道在勤を命ず
任本府道警部（七等）
（京畿）同　中村　熊臣
任本府道警部（七等）
補慶尚南道警